

# MPE720 Ver.7.50 バージョンアップ情報

## 1. 機能追加・改善項目

### 1.1 Ver.7.47 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.47→ Ver.7.50 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	カムツールデータを表データにインポートする機能を追加しました。	機能追加
2	文字列操作命令 (String Operation) を追加しました。	機能強化
3	ストレージ操作命令 (Storage Operation) を追加しました。	機能強化
4	テーブル操作命令にテーブルを間接指定する命令を追加しました。	機能強化
5	オプションモジュール 263IF-01 の EDS ファイル読み込み機能を改善しました。	改善
6	モーションプログラムの命令入力アシスト機能における設定値の挿入処理を改善しました。	改善
7	Cレジスタが 16 進数形式に対応しました。	改善
8	他社製 I/O を使用しているときのセルフコンフィグレーションの挙動を改善しました。	改善
9	特定の操作で MPE が強制終了する現象を修正しました。	改善
10	CP ラダー変換の挙動を改善しました。	改善
11	特定条件下で SigmaWin+ が起動できない現象を改善しました。	改善
12	メインウィンドウに 17 個目のウィンドウを表示させた場合の挙動を改善しました。	改善
13	FORK 系の命令でラベル名に「D」と「F」を使用した場合のコンパイルエラー発生を改善しました。	改善
14	EXPRESSION 命令の挙動を改善しました。	改善
15	定数グループの変数名に「C_C_□」を使用した場合の挙動を改善しました。	改善
16	定数変数に「_」を使用した場合の挙動を改善しました。	改善
17	特定条件において、軸のセットアップウィザードでエラーコードが表示する現象を改善しました。	改善
18	モジュール構成定義の軸のコピー&ペーストの挙動を改善しました。	改善
19	モジュール構成定義にてサーボパックの割り付けを削除したときの挙動を改善しました。	改善
20	メンテナンスモニタのデータ取得の挙動を改善しました。	改善
21	メンテナンスモニタ設定で 17 軸以上割り付けると MPE が強制終了する現象を修正しました。	改善
22	メンテナンスモニタ設定に機能の対象外の機器が割り付けられている場合に削除を促すメッセージを表示するようにしました。	改善
23	オートコンプリート機能の挙動を改善しました。	改善

(※): Windows 7、Windows Vista の OS 環境で、既に MPE720 Ver.7.11 以前の MPE720 Ver.7 を使用していた場合に MPE720 Ver.7.13 以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種 (ΣV-mini シリーズ) 追加などの情報 (データベースに追加された最新の情報) で動作しない場合があります。操作手順については、次頁を参照ください。

## 【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

### <原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

### <対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

### 手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

#### 【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7\_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7\_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

#### 【DVD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

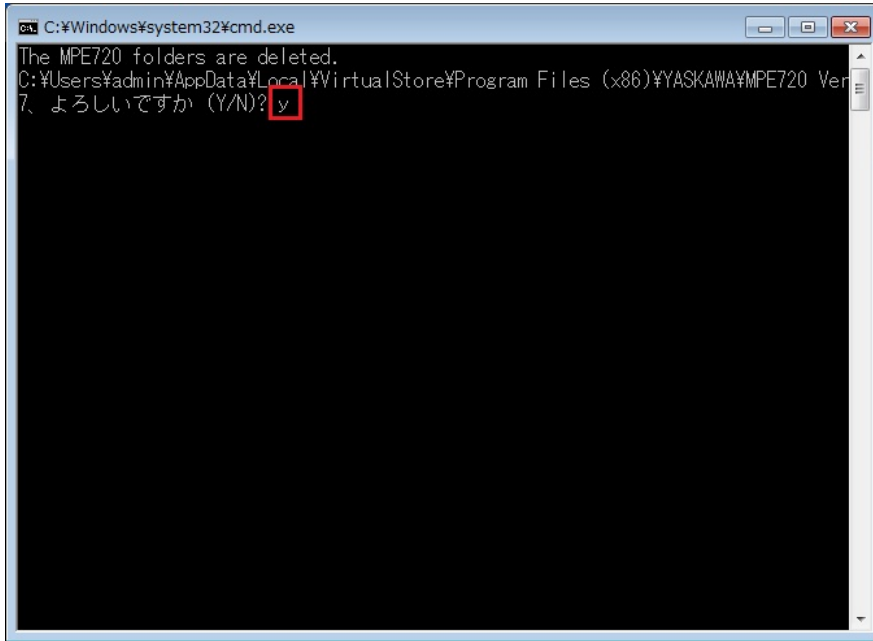
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

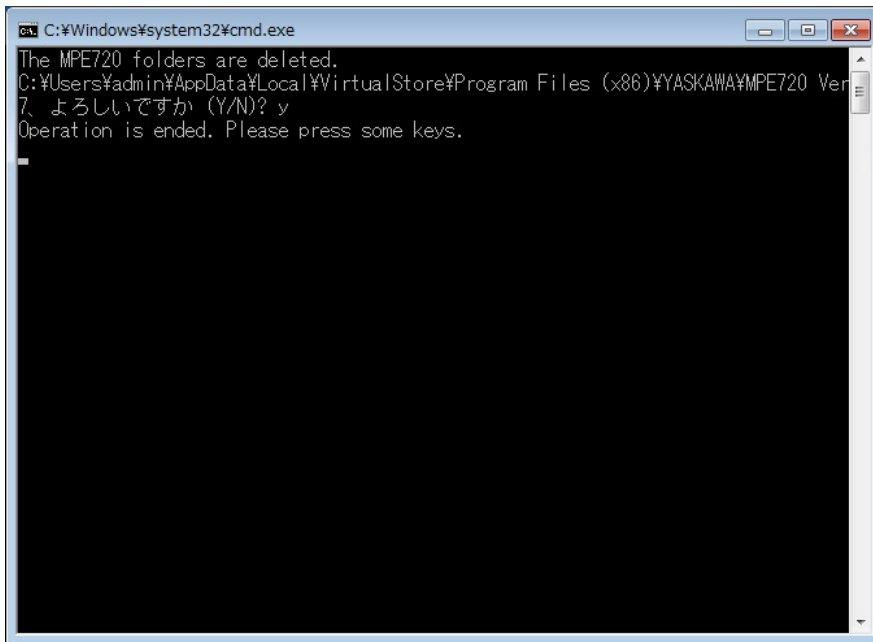


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7. よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7. よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)¥AppData¥Local¥VirtualStore

## 【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

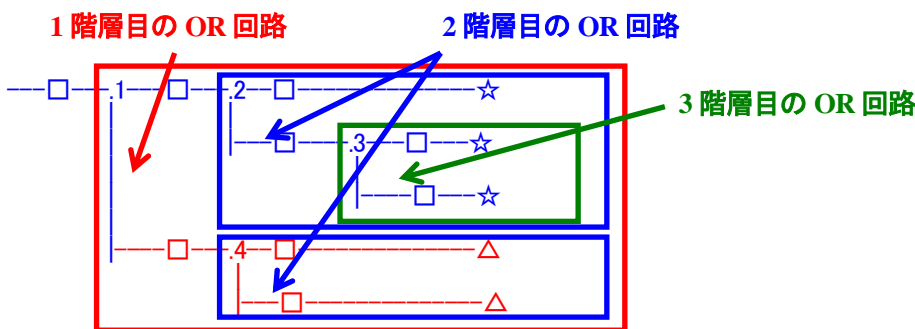
### <現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

### <対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

□(条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!=、>、<) 命令など

※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む

☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

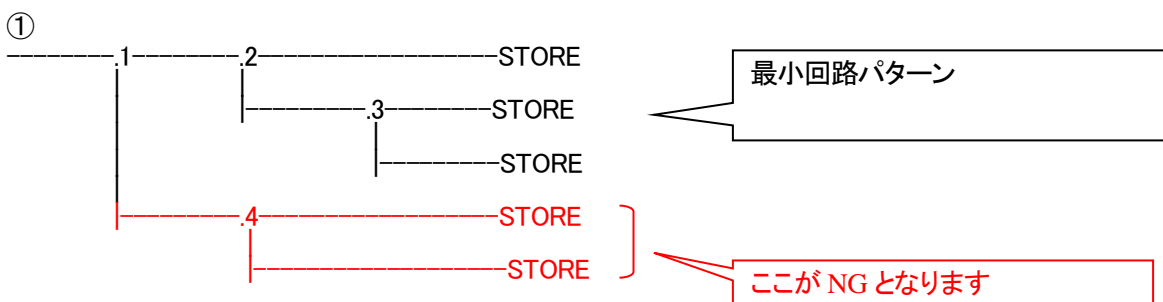
※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。

△(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

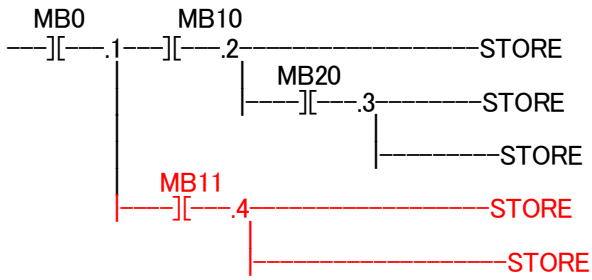
### 【現象発生パターン】

記号	命令
┌┐	A 接点
STORE	STORE 命令
( )	コイル

### 【NG パターン】



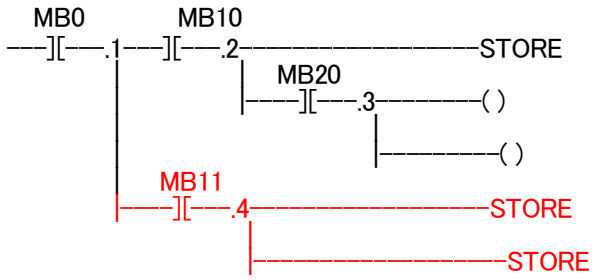
②



最小回路パターンに条件命令(A接点など)があってもNG

ここがNGとなります

③

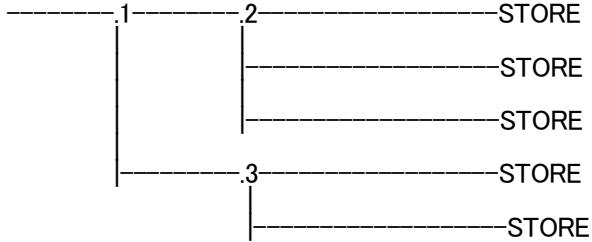


ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があるとNG

ここがNGとなります

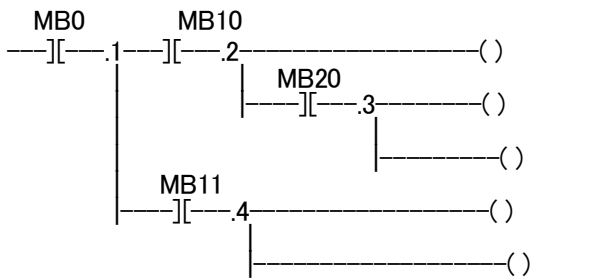
【OKパターン】

①



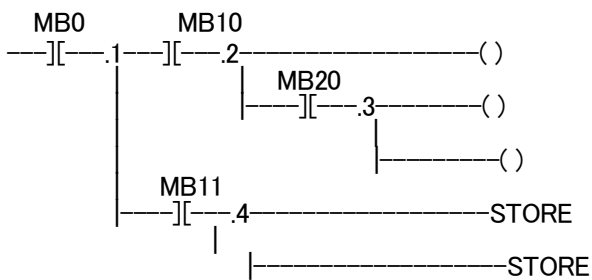
2階層のOR回路なのでOK

②



すべてコイルなのでOK

③



すべてコイルなのでOK

## 1.2 過去のバージョンアップ情報

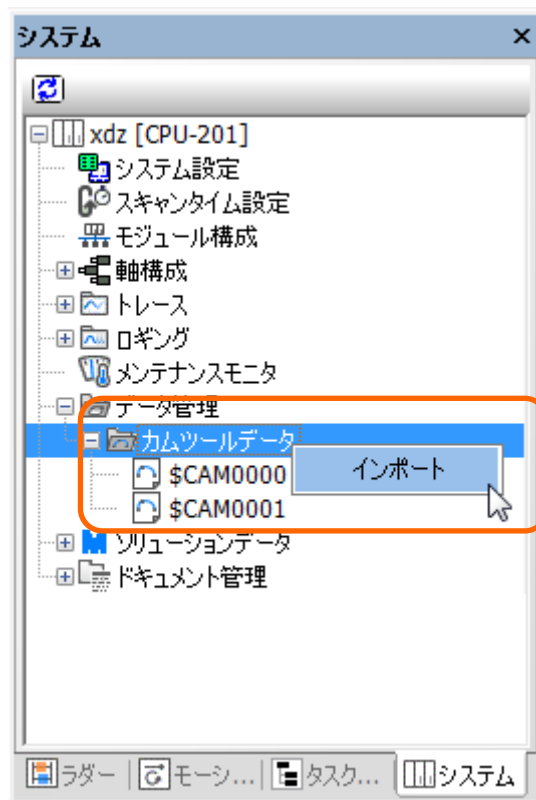
No.	バージョンアップ	備考
1	<a href="#">MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報</a>	Ver7.10→Ver7.11
2	<a href="#">MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報</a>	Ver7.11→Ver7.13
3	<a href="#">MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報</a>	Ver7.13→Ver7.14
4	<a href="#">MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報</a>	Ver7.14→Ver7.20
5	<a href="#">MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報</a>	Ver7.20→Ver7.21
6	<a href="#">MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報</a>	Ver7.21→Ver7.23
7	<a href="#">MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報</a>	Ver7.23→Ver7.24
8	<a href="#">MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報</a>	Ver7.24→Ver7.26
9	<a href="#">MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報</a>	Ver7.26→Ver7.27
10	<a href="#">MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報</a>	Ver7.27→Ver7.28
11	<a href="#">MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報</a>	Ver7.28→Ver7.29
12	<a href="#">MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報</a>	Ver7.29→Ver7.30
13	<a href="#">MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報</a>	Ver7.30→Ver7.31
14	<a href="#">MPE720 Ver7.33 バージョンアップ情報</a>	Ver7.31→Ver7.33
15	<a href="#">MPE720 Ver7.34 バージョンアップ情報</a>	Ver7.33→Ver7.34
16	<a href="#">MPE720 Ver7.35 バージョンアップ情報</a>	Ver7.34→Ver7.35
17	<a href="#">MPE720 Ver7.36 バージョンアップ情報</a>	Ver7.35→Ver7.36
18	<a href="#">MPE720 Ver7.37 バージョンアップ情報</a>	Ver7.36→Ver7.37
19	<a href="#">MPE720 Ver7.38 バージョンアップ情報</a>	Ver7.37→Ver7.38
20	<a href="#">MPE720 Ver7.39 バージョンアップ情報</a>	Ver7.38→Ver7.39
21	<a href="#">MPE720 Ver7.40 バージョンアップ情報</a>	Ver7.39→Ver7.40
22	<a href="#">MPE720 Ver7.41 バージョンアップ情報</a>	Ver7.40→Ver7.41
23	<a href="#">MPE720 Ver7.42 バージョンアップ情報</a>	Ver7.41→Ver7.42
24	<a href="#">MPE720 Ver7.43 バージョンアップ情報</a>	Ver7.42→Ver7.43
25	<a href="#">MPE720 Ver7.44 バージョンアップ情報</a>	Ver7.43→Ver7.44
26	<a href="#">MPE720 Ver7.45 バージョンアップ情報</a>	Ver7.44→Ver7.45
27	<a href="#">MPE720 Ver7.46 バージョンアップ情報</a>	Ver7.45→Ver7.46
28	<a href="#">MPE720 Ver7.47 バージョンアップ情報</a>	Ver7.46→Ver7.47

## 2. 修正内容詳細

### No. 1 カムツールデータを表データにインポートする機能を追加しました。

システムサブウィンドウに「データ管理 - カムツールデータ」カテゴリを追加しました。

このカテゴリにて、cdt 形式のカムツールデータを表データに変換してインポートしたり、インポートしたカムツールデータを一覧表示したりできます。



#### 【対応バージョン】

##### ○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 2 文字列操作命令 (String Operation) を追加しました。

ラダー命令パレットに「String Operation」カテゴリを新たに追加しました。「String Operation」に含まれる命令は以下のとおりです。

- ・整数→文字列変換(INT2STR)
- ・実数→文字列変換(REAL2STR)
- ・文字列→整数変換(STR2INT)
- ・文字列→実数変換(STR2REAL)
- ・文字列格納(STRSET)
- ・文字列の一部削除(STRDEL)
- ・文字列コピー(STRCOPY)
- ・文字列長取得(STRLEN)
- ・文字列連結(STRCAT)
- ・文字列比較(STRCMP)
- ・文字列挿入(STRINS)
- ・文字列検索(STRFIND)
- ・文字列切り出し(STREXTR)
- ・文字列終端切り出し(STREXTRE)
- ・文字列端スペース削除(STRTRIM)

### 【対応バージョン】

#### ○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	Ver.1.47 以降
Σ7 シリーズ	Ver.1.12 以降
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは未サポートです。



### No. 3 ストレージ操作命令 (Storage Operation) を追加しました。

ラダー命令パレットに「Storage Operation」カテゴリを新たに追加しました。「Storage Operation」に含まれる命令は以下のとおりです。

- ・ファイルオープン(FOPEN)
- ・ファイルクローズ(FCLOSE)
- ・ファイルからデータ読み出し(FREAD)
- ・ファイルへデータ書き込み(FWRITE)
- ・ファイル位置指示子のセット(FSEEK)
- ・ファイルから 1 行文字列読み出し(FGETS)
- ・ファイルへ文字列書き込み(FPUTS)
- ・ファイルコピー(FCOPY)
- ・ファイル削除(FREMOVE)
- ・ファイル名変更(FRENAME)
- ・ディレクトリ作成(DCREATE)
- ・ディレクトリ削除(DREMOVE)
- ・FTP サーバへファイル送信(FTPPUT)

#### 【対応バージョン】

##### ○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	Ver.1.47 以降
Σ7 シリーズ	Ver.1.12 以降
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは未サポートです。

#### No. 4 テーブル操作命令にテーブルを間接指定する命令を追加しました。

ラダー命令パレット「TABLE」カテゴリに以下命令を追加しました。これらの命令は、テーブルを文字列定数ではなくレジスタ指定(間接指定)するための命令です。

- ・ブロック読み出し(TBLBRE)
- ・ブロック書き込み(TBLBWE)
- ・行サーチ(縦方向)(TBLSRLE)
- ・列サーチ(横方向)(TBLSRCE)
- ・ブロック消去(TBLCLE)
- ・表間ブロック転送(TBLMVE)
- ・キュー表読み出し(QTBLRE)
- ・キュー表読み出し(QTBLRIE)
- ・キュー表書き込み(QTBLWE)
- ・キュー表書き込み(QTBLWIE)
- ・キュー表ポインタクリア(QTBLCLE)

#### 【対応バージョン】

○コントローラ

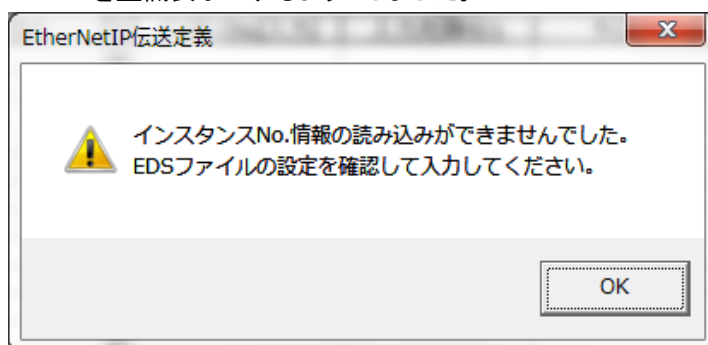
コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	Ver.1.47 以降
Σ7 シリーズ	Ver.1.12 以降
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは未サポートです。

## No. 5 オプションモジュール 263IF-01 の EDS ファイル読み込み機能を改善しました。

EDS ファイル内に記載されたインスタンス No、サイズの読み込み挙動を改善しました。

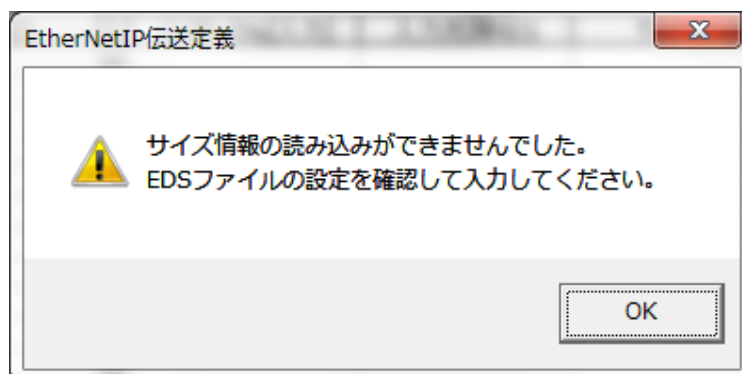
### 1) インスタンス No

- ・ インスタンス No の値を「2C」のみで特定されるようにしていましたが、「2D 00」でも特定されるようにしました。
- ・ パラメータを「[Param□]」で特定されるようにしていましたが、「[]」が付いていなくても特定されるようにしました。
- ・ 該当するインスタンス No が特定できない場合は EDS ファイルの読み込みが中断されていましたが、下記メッセージを表示してインスタンス No を空欄表示にするようにしました。



### 2) サイズ

- ・ 該当するサイズが特定できない場合は EDS ファイルの読み込みが中断されていましたが、下記メッセージを表示してサイズを空欄表示にするようにしました。



### 【対応バージョン】

#### ○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 6 モーションプログラムの命令入力アシスト機能における設定値の挿入処理を改善しました。

- 1) 設定値セルに小数点を入力すると、小数点を含む設定した値がそのままモーションエディタに挿入されるようになりました。※単位が[pulse]以外の場合
- 2) 設定値セルに「K」または「k」が入力されていた場合、モーションエディタにそのまま挿入されるようになりました。

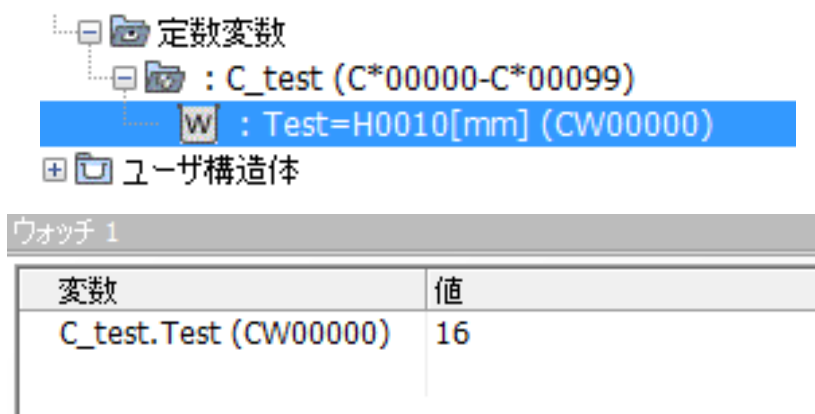
### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 7 Cレジスタが 16 進数形式に対応しました。

Cレジスタに 16 進数形式(Hxxxx)で入力できるようになりました。



The screenshot shows a software interface with a tree view on the left containing folders for '定数変数' (Constant Variables), 'C\_test (C\*00000-C\*00099)', and 'ユーザ構造体' (User Structures). The 'C\_test' folder is expanded, showing a variable declaration: 'W : Test=H0010[mm] (CW00000)'. Below this, a 'ウォッチ 1' (Watch 1) window displays a table with two columns: '変数' (Variable) and '値' (Value). The table contains one entry: 'C\_test.Test (CW00000)' with a value of '16'.

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 8 他社製 I/O を使用しているときのセルフコンフィグレーションの挙動を改善しました。

他社製 I/O を使用しているときにセルフコンフィグレーションを行うと、誤ってモーションレジスタが割り付けられる現象がありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 9 特定の操作で MPE が強制終了する現象を修正しました。

以下の操作を実行した場合に、MPE が強制終了する場合がありますので、その現象が発生しないように改善しました。

- 軸運転モニタ、軸アラームモニタ→エラー・ワーニング表示
- システムモニタ→アラーム情報表示
- システムモニタ→アラーム履歴表示

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 10 CP ラダー変換の挙動を改善しました。

CP ラダープログラム内で格納命令を使用した際、CP ラダー変換後に格納元レジスタとは異なるレジスタが割り当てられる現象がありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

### No. 11 特定条件下で SigmaWin+ が起動できない現象を改善しました。

同じモーションモジュール内に多軸サーボパックと UnSupportDevice を接続しているときに、多軸サーボパックについて MPE720 から SigmaWin+ を起動できない現象がありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

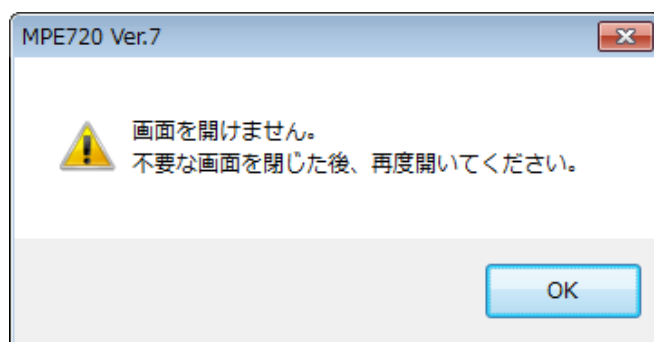
#### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

### No. 12 メインウィンドウに 17 個目のウィンドウを表示させた場合の挙動を改善しました。

メインウィンドウに表示可能なウィンドウ数は 16 個です。17 個目のウィンドウを表示させると、MPE720 が正常に動作しないことがありましたので、下記メッセージを表示することでこの現象が起きないように改善しました。



#### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

### No. 13 FORK 系の命令でラベル名に「D」と「F」を使用した場合のコンパイルエラー発生を改善しました。

FORK 系の命令 (PFORK、SFORK) で、ラベル名に「D」や「F」を使用した場合、コンパイルエラーが発生していましたので、その現象が発生しないように改善しました。

#### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 14 EXPRESSION 命令の挙動を改善しました。

予約語が複数含まれる EXPRESSION 命令のコンパイル処理に以下のような現象が発生することがありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

例: EXPRESSION 命令内に「DTYPE(SRQT(□))」と記述しコンパイルすると、「SQRT(SQRT(□))」と表示される。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 15 定数グループの変数名に「C\_C\_□」を使用した場合の挙動を改善しました。

定数グループの変数名に「C\_C\_□」を使用した場合、エラーが発生していましたので、その現象が発生しないように改善しました。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 16 定数変数に「\_」を使用した場合の挙動を改善しました。

定数変数に「\_」を使用した場合、以下のような現象が発生することがありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

例: 定数グループ「C\_1」、「C\_11」があるときに「C\_11」配下に変数を追加すると、「C\_1」にもその変数が過って追加される。しかし、「C\_1」に過って追加された変数を開こうとしてもエラーメッセージが表示され、開けない。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

### No. 17 特定条件において、軸のセットアップウィザードでエラーコードが表示する現象を改善しました。

SVB モジュールとΣV の組み合わせにおいて、軸のセットアップウィザードで軸選択をするとエラーコード(0xA0A00C4D)が表示される現象がありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

#### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

### No. 18 モジュール構成定義の軸のコピー&ペーストの挙動を改善しました。

モジュール構成定義ウィンドウにて軸のコピー&ペーストを行う際、コピー元とコピー先の両方に形式名称の付加情報(「軸未使用」、「Linear」)が表示されていた場合、コピー先に形式名称の付加情報が二重に表示される現象がありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

#### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

### No. 19 モジュール構成定義にてサーボパックの割り付けを削除したときの挙動を改善しました。

モジュール構成定義ウィンドウから起動した詳細定義ウィンドウにてサーボパックの割り付けを削除しても、サーボパラメータデータが削除されない現象がありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

#### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

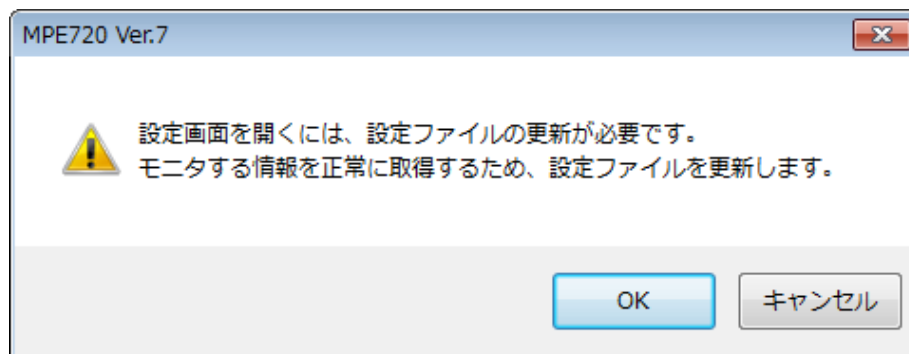


## No. 20 メンテナンスモニタのデータ取得の挙動を改善しました。

メンテナンスモニタにおいて、以下のモニタ機能のデータ取得ができない現象がありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

- ・シリアルエンコーダ通信異常回数
- ・MECHATROLINK 通信異常回数

改善に伴い、MPE720 Ver. 7.46 または Ver. 7.47 で上記モニタ機能を設定していた場合、Ver. 7.50 以降で開くと以下メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックすると、データ取得できるようになります。



### 【対応バージョン】

#### ○コントローラ

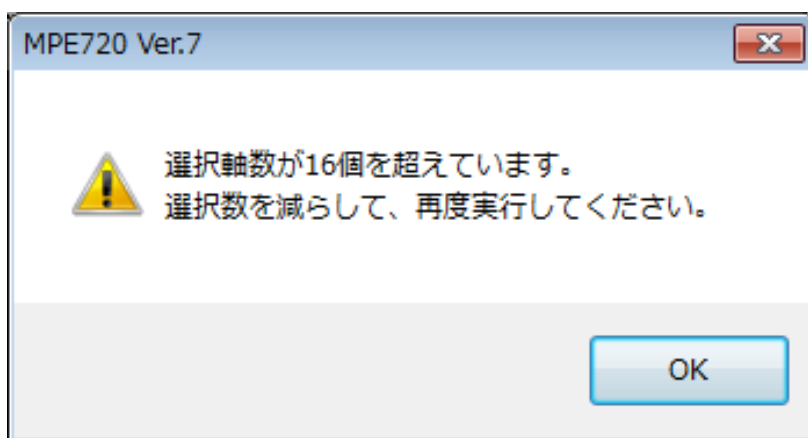
コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	Ver.1.44 以降
Σ7 シリーズ	Ver.1.09 以降
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは未サポートです。

#### ○サーボ

サーボパック	対応ファームウェアバージョン
Σ7S	Ver. 002C 以降
Σ7W	Ver. 002C 以降
Σ7C	Ver. 002C 以降

**No. 21 メンテナンスモニタ設定で 17 軸以上割り付けると MPE が強制終了する現象を修正しました。**

メンテナンスモニタ設定で、軸の選択数が 16 軸を超過している状態で OK ボタンを押下した場合にエラーメッセージを表示して、軸選択の再操作を促すように修正しました。



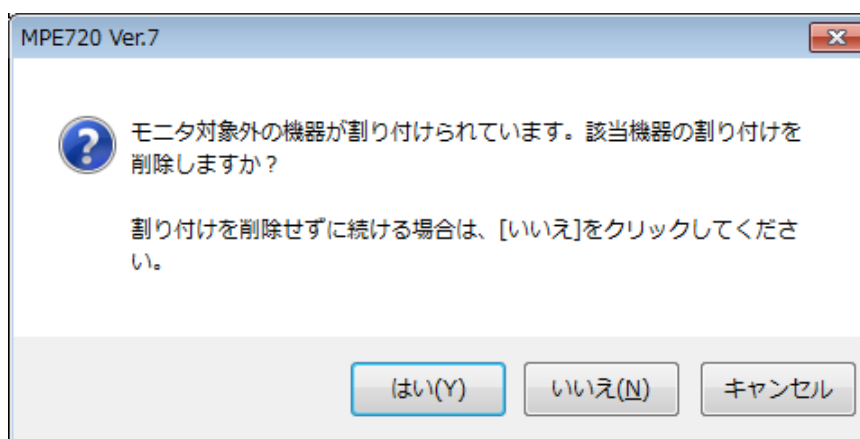
**【対応バージョン】**

**○コントローラ**

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは未サポートです。

## No. 22 メンテナンスモニタ設定に機能の対象外の機器が割り付けられている場合に削除を促すメッセージを表示するようにしました。

メンテナンスモニタ設定に機能の対象外の機器が割り付けられている場合に、メンテナンスモニタ設定画面の OK ボタンもしくは適用ボタンを押下した場合、以下のメッセージを表示するように修正しました。



はいボタン:

メンテナンスモニタ設定の機能の対象外の機器を削除して、それ以外の機器を登録

いいえボタン:

メンテナンスモニタ設定の機能の対象外の機器を削除せずに全ての機器を登録

キャンセルボタン:

登録せずにメンテナンスモニタ設定画面に戻る。

### 【対応バージョン】

○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	MP2000 シリーズでは未サポートです。

## No. 23 オートコンプリート機能の挙動を改善しました。

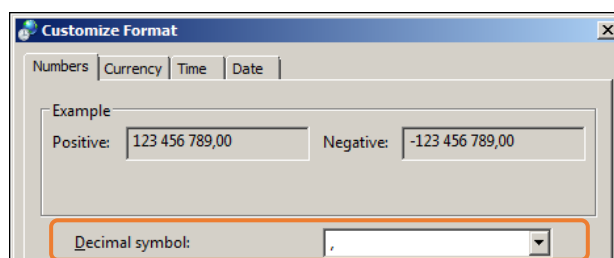
パソコンの設定で小数点の記号が「,」に設定されているとき、MPE720 のオートコンプリート機能の候補表示リストが正常に表示されない現象がありましたので、その現象が発生しないように改善しました。

### <補足>

小数点の記号の設定は、パソコンの[スタート] - [コントロールパネル] - [地域と言語] - [形式]タブの[追加の設定]をクリックすると表示される[形式のカスタマイズ]ダイアログボックスの[数値]・[通貨]タブで設定できます。

言語によっては「,」が小数点の記号のデフォルト設定になっています。

例: フランス語の[形式のカスタマイズ]ダイアログボックス



### 【対応バージョン】

#### ○コントローラ

コントローラ	対応ファームウェアバージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
Σ7 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。